

## 第 18 回平和リレー講座の見どころ

1927年(昭和2年)、豊田市南部の高岡地域で全国から大軍を集めての陸軍特別大演習が行われました。アジア太平洋戦争に向かう中、天皇も参加しての歴史的な大演習で侵略戦争の始まりに位置づくそれらの遺跡を訪ねます。

### 訪問地 ①今上駐蹕之所…天皇訪問の碑（駒場町）



1927年11月陸軍特別大演習が尾張・三河の地で行われ、昭和天皇が視察した。今上駐蹕之所（きんじょうちゅうひつのところ）の碑裏面には「…碧海の原野に天皇馬はいななき…」 「…高岡村駒場の地が天皇の昼食の場に…」と記されている。ここより愛馬「吹雪」で若林方面へ2里（約8 Km）を戦線巡覧。④を参照。

### ②徳念寺…学童集団疎開受け入れ（駒場町）



徳念寺は名古屋市北区杉村小学校の児童が三河方面に集団疎開した際の分宿の1つ。昭和20年(1945)1月13日午前3時発生の三河地震によって建物が倒れ、2人の子供が亡くなっている。(愛知県HP)

近くの住人の証言：「疎開中の女子6年生の子が3人犠牲になりました。2人がなくなり、ひとりが重傷でした。本堂に疎開していた子どもは、地震の時、飛び出して境内から道路に出ようとしたとき、運悪く寺門が倒れて下敷きになりました。」

### ③御乗換橋…「表忠碑」（西岡町）



大正天皇が皇太子の時(明治44年(1911)秋)、第15師団の演習を見るため高岡村大官橋に乗り物で来て、馬に乗り換えて閲兵した。これを記念して大官橋を御乗換橋と名称を変更し、後世に長く伝えようとした。この橋の南側に逢妻女川を臨んで「表忠碑」などの碑が並ぶ。



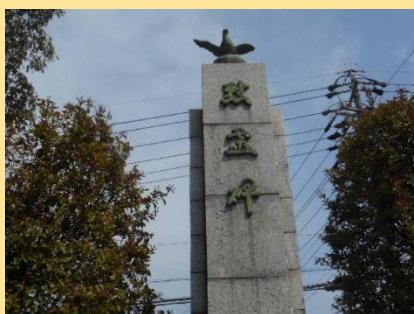
#### ④今上駐蹕之所…天皇訪問の碑（若林西町）



①の駒場町と同様の碑文があり、昼食の場が観戦駐蹕と記されている。

この年実施された演習を記念した「天皇訪問の碑」は尾張・三河地域の各地に多数残されている。尾張旭市三郷町、瀬戸市長根、守山区東山、小牧市岩崎、犬山市、春日井市など。

#### ⑤高岡町戦没者「慰霊碑」（高岡町長根 高岡町コミュニティセンター内六鹿会館東）



アジア太平洋戦争の戦没者数は「高岡村誌」によれば420名で、戦没地は中国101名、フィリピン101名のほかソロモン諸島、マリアナ諸島、ニューギニアなどである。

慰霊碑正面右側に明治天皇詠んだ歌、左側に慰霊文が記されている。「慰霊碑」上部に羽ばたく鳩が据えられている。

#### ⑥堤地区の高地（上丘町）



堤地区の高地は海拔41mで東西南北とも見通しがよかった。この一帯は昭和16年に陸軍の演習場になり、当時の東海航空（現トヨタ自動車元町工場）で働いていた女子挺身隊員が御新宮山（現トヨタ自動車堤工場の南）で銃剣を持ち演習を行った。その様子を部落内の作者杉本栄一が短歌に読んだ。「銃持ちて丘に来れる女学生 一群ありて 射撃始めぬ」

#### ⑦名鉄電車空襲被害地（竹町）



1945年8月14日名鉄電車竹村駅北方約100m信号の手前で米軍戦闘機P51の襲撃により死者7名負傷者75名（高岡村誌）の犠牲者が出た。列車は挙母駅発吉良吉田行き2両編成で定刻の12時47分に挙母駅を出て上挙母駅、土橋駅を經由して竹村駅へ向かった。竹村駅手前で敵機襲来のため電源が切れ駅手前約100mの信号機の近くで電車は停止。そこへ電車後方から飛来した2機のP51が機銃掃射してきた。

負傷者は近くの岩月病院で応急手当てを受けるが、負傷者の数が余りにも多く、安城厚生病院と豊田病院（現トヨタ記念病院）へ車で搬送された。